



Open Campus 2011

◎日獣祭開催中。日獣祭のイベントもご見学・ご参加ください。

TIME SCHEDULE (11/5)

IME SCHEDULE (11/5)		10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00		
受付	C棟5Fエレベーターホール 全学科			・資料配布 ・シラバス(講義概要)展示 ・入試過去問題(実物)展示						
模擬面接試験	C棟5F 会議室 獣医学科			【模擬面接午前の部】11:30～13:30 推薦入試の面接試験が体験できる新企画！ 整理券配布…午前の部受付にて配布(10:00～)			【模擬面接午後の部】14:00～16:00 奮って参加してください♪ 整理券配布…午後の部受付にて配布(13:00～)			
研究紹介 模擬面接	C棟5F 応接室 獣医保健看護学科		【研究紹介】10:30～14:00 パネルの展示で研究を紹介＆相談コーナー お気軽にどうぞ(*^_^*)			【模擬面接試験】14:00～16:00 推薦入試の面接試験が体験できる新企画！ 整理券配布…獣医保健看護学科入試対策講座内にて(12:30～)				
ニチジュウ café	C棟4Fエレベーターホール 獣医学部			11:00～15:30 随時 「ニチジュウcafé」日獣生による相談コーナー						
学科説明 入試対策 体験講義	C-501 獣医学部	10:30～ 学長からの メッセージ	11:00～ 獣医学科 入試対策講座	11:30～ 学科説明	12:00～ 獣医保健看護学科 学科説明	12:30～ 入試対策講座	13:00～ 獣医保健看護学科 体験講義①	14:15～ 特別講義	15:00～ 獣医学科 体験講義①	15:30～ 獣医学科 体験講義②

《日獣祭collaboration企画 ～東日本大震災～》

PICK UP 体験講義

■ 獣医保健看護学科 体験講義



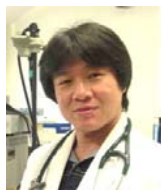
「伴侶動物の栄養学」



犬や猫の栄養代謝のしくみには、人間と異なった部分がたくさんあります。例えば、猫は完全な肉食動物であり、蛋白質の代謝は大得意ですが炭水化物を取り入れるのには向いていません。このことは、猫が糖尿病になりやすいことと深く関わっています。その他にも、犬や猫は消化管の機能にそれぞれ特徴がありますし、必要な脂肪酸やビタミンの種類も人間とは少しずつ違います。本講義では、犬や猫の栄養代謝の特性について解説し、病気やペットフードの話にも触れてみたいと思います。



准教授
石岡 克己
(獣医保健看護学
臨床部門)



PICK UP 日獣祭collaboration 企画

入試対策講座

11:00～(獣医学科) 12:30～(獣医保健看護学科)
本年度の入試の説明と、日獣大生による合格体験記からなる入試対策講座。推薦入試を考えている受験生はもちろん、来年以降受験の高校1～2年生にもきっと役立つ体験談です。
高校生のうちに何をしたらいいの？受験対策は何をした？
ちなみに合格体験記・相談はニチジュウCafé(4F)にて受け付けています。どうぞご来場ください。

ニチジュウcafé

時間 11:00～15:30 随時

日獣祭実行委員会の学生運営によるニチジュウCafé。高校生のみなさまに本学の魅力をお伝えします！
学生生活やサークル活動のこと、入試対策など何でもご相談ください。合格体験記などのミニ発表もいたします。
先着100名様に宮崎県産の日向夏ジュースをお配りします。ぜひ、気軽にお立ち寄りください♪

日獣祭collaboration企画

体験講義×特別講義 ～東日本大震災～

■ 獣医学科 体験講義①

「動物シェルターにおける小動物医療」

講師 余戸 拓也 (獣医外科学)

日獣獣生命科学研究科では2011年8月8日から9月30日までの2ヵ月間、獣医学部の獣医師免許を持つ教員および大学院生総勢11名が宮城県の動物シェルターにて、診療活動を行いました。

今回の特別講演では、災害後に出来た動物シェルターの活動を報告するとともに、想定外の非常事態において、小動物診療に携わる獣医師がどのような社会貢献が出来るのかを動物シェルターでの診療ボランティアをとおして考えていきたいと思います。

■ 獣医学科 体験講義②

「警戒区域のペット保護活動(飼主の災害心理学)」

助教 野瀬 出 (比較発達心理学)

福島第1原発から半径20km圏内は警戒区域に設定されており、そこに残留された犬と猫の回収・保護活動が5月から9月にかけて実施されました。その活動を紹介するとともに、ペットとの避難に関わる飼主の心理傾向について考えたいと思います。

東日本大震災 被災地の現状から学ぶ ～大規模災害における動物救護とペットの防災対策～

平成23年3月12日、観測史上最大規模の地震が東北地方を襲いました。海岸の地域一帯を襲った津波は、地震から逃れた多くの人々の命と財産を奪いました。さらに、福島原子力発電所からの放射能漏れ事故は救助活動のハードルともなり、地震や津波を生き延びた方々を更に鞭打つ事態になってしまいました。ペットに関しても「被爆」というこれまでにない試練が襲っています。このような大規模災害時に私達は何が出来るのか、被災地の現状から何を学ぶのか、ぜひ一緒に考えてください。

獣生命科学研究科
応用生命科学専攻
博士課程後期
平井 潤子



Open Campus 2011



◎日獣祭開催中。日獣祭のイベントもご見学・ご参加ください。

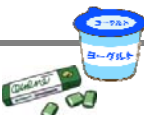
TIME SCHEDULE (11/6)		10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00		
受付	C棟5Fエレベーターホール									
	全学科	・資料配布 ・シラバス(講義概要)展示 ・入試過去問題(実物)展示								
研究室紹介	C棟5F 会議室									
	動物科学科	・パネルの展示で研究室を紹介&相談コーナー					10:30~16:00 随時			
	C棟5F 応接室									
	食品科学科	・パネルの展示で研究室を紹介&相談コーナー					10:30~16:00 随時			
ニチジュウcafé	C棟4Fエレベーターホール									
	応用生命科学部		11:00~15:30 随時			「ニチジュウcafé」日獣生による相談コーナー				
学科説明 入試対策 体験講義	C-501 応用生命科学部	10:30~ 学長からの メッセージ	11:00~ 動物科学科 学科説明	11:30~ 入試対策講座	12:00~ 食品科学科 学科説明	12:30~ 入試対策講座	13:00~ 食品科学科 体験講義	13:45~ 動物科学科 体験講義	14:30~ 学生報告	15:15~ 食品科学科 体験講義

PICK UP 体験講義

■ 食品科学科 体験講義

「体験!! 特定保健用食品と食品の機能性」

「特定保健用食品」を知っていますか? 聞いたことはあるけど「ピンと来ない」という人が、意外に多いようです。実は、ガムやヨーグルト、シリアル等の食品形態をしており、気付かないうちに口にしている身近な食品です。この体験講義では、特定保健用食品の制度や特定保健用食品が効果を発揮するメカニズムについて判りやすく解説します。また、食品の機能性についても、簡単な実験を交えて体験していただきます。勿論、試食もありますよ♪



助教
江草 愛
(食品機能化学)



トクホ商品例▲

PICK UP

日獣祭collaboration企画

入試対策講座

11:30~(動物科学科) 12:30~(食品科学科)
本年度の入試の説明と、日獣大生による合格体験記からなる入試対策講座。推薦入試を考えている受験生はもちろん、来年以降受験の高校1~2年生にもきっと役立つ体験談です。
高校生のうちに何をしたらいいの? 受験対策は何をした?
ちなみに合格体験記・相談はニチジュウCafé(4F)にて受け付けています。どうぞご来場ください。

ニチジュウcafé

時間 11:00~15:30 随時

日獣祭実行委員会の学生運営によるニチジュウCafé。高校生のみなさまに本学の魅力をお伝えします!
学生生活やサークル活動のこと、入試対策など何でもご相談ください。合格体験記などのミニ発表もいたします。
先着100名様に宮崎県産の日向夏ジュースをお配りします。ぜひ、気軽にお立ち寄りください♪



日獣祭collaboration企画

体験講義×学生報告 ~ニッポンのウシ事情~



■ 動物科学科 体験講義

「なぜバターが足りなくなるの? -あなたの知らない牛乳事情-」

牛乳・乳製品は私たちの日常生活には欠かすことのできない食品です。しかし私たちはどれだけ牛乳や乳製品のことを知っているのでしょうか。例えばバター。マスコミではバターが年末年始にかけて足りなくなると伝えていますが、「確か牛乳は余っているのだからバターは余ってもいいよね?」と考える人は、あなただけではありません。この講義ではあなたの知らない牛乳事情について、分かり易く解説します。もしかしたら、この講義を聞いた後に飲む冷たいミルクは特別な味がするかも?

准教授
小澤 壮行
(システム経営学)



■ 学生報告

「口蹄疫を様々な目線から見る」

昨年、宮崎県で起こった口蹄疫による甚大な被害を覚えていますか?
私にとって昨年の出来事は衝撃的なものでした。口蹄疫についてメディアで取り上げられなくなった今、被害地域はどのような状態にあるのか。また、昨年の口蹄疫はどのようなものだったのか、地元の農家さんや地元で活躍されている獣医師の方から聞いたお話。また、私たち大学生だから出来ることについて昨年から今までの活動をお話したいと思います。

【代表学生】
獣医保健看護学科
2年次
牧草 みどり

